

会員のみなさま、お元気にお過ごしのこととお伺い申し上げます。コロナ禍の中、猛暑と台風豪雨の夏がやっと終わり、涼しい10月となりましたが、10月も大きな台風が2年前にやってきたことは、この通信の記録にも残っていますように、油断はできません。地球温暖化による気候変動が報道されるようになってから30年以上たつてでしょうか。今に至るまで事態は好転する兆しはなく、相変わらず地球上では森林伐採や森林火災による緑の環境の消滅が続いています。近年の雨の降り方は、局部的豪雨が目立ちます。そのことによって根の浅い杉や檜の人工林は土砂崩れを起こし、増水した川の流れの中に沢山の杉が流されている光景を、毎年のようにニュースで見えています。活動地の有馬富士森林公園内の登山路も笹が生えていない道は広く表土が流されてしまい、粘土質の肌がむき出しとなっている所が散見されます。木々の枝葉が雨粒を受けて幹に流し、山肌への直撃を防ぎ、土の中にゆっくりとため込んで、それが伏流水となって湧水の恵みを与えてくれたり、細い小川となって大きな川に合流してゆき、海に至るという自然の営みが、豪雨によって一気に鬼のように土砂くずれや河川の氾濫による洪水などになってしまう事象は、毎年恒例のようになってしまいそうで恐怖を感じます。自然がやせ細り様々な生き物たちが地上から消滅してゆく、そんな中で私たちの子孫が平和に暮らしてゆくことは可能でしょうか？せめて私たちの身近な山々に豊かな緑を残す事、熱帯雨林の伐採につながるプランテーション生産品を購入しない事、環境汚染につながるプラスチック製品をなるべく使わない事など、小さな努力をする事によって、集まれば大きな「うねり」となる様に祈るばかりです。さて、コロナ禍の中でも当クラブはマスクをしたり、ソーシャルディスタンスを保ったり、手指の消毒をしながら、7月初旬から休止していた里山管理活動を9月末から開始しました。緑樹の空気は殺菌力があると昔から言われています。有馬高校の里山体験実習支援も小雨の中でしたが、行いました。下期は、北摂里山大学支援(植生調査)・(植生管理)、キノコ観察会、松が丘小学校の環境学習支援、椎茸の菌打ちイベント等、よほどの異変がない限り開催を予定しています。皆さまのご健勝を心からお祈りいたしつつ。 2020年10月1日 代表世話人 北田香菜子

令和2年度 上期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 10日 作業延人数 110名 (4/1~9/30)  
4月・5月はコロナ感染防止の為、7月・8月は猛暑の為、整備作業は実施していません

①4月8日(水) 春の新緑はこれからですが暖かい陽射しの下でソメイヨシノやコバノミツバツツジが綺麗に咲いてくれました



②-2 6月10日(水) コロナ禍の中、里山整備に18名が集まりました。ソーシャルディスタンスを取って、記念撮影です



②-1 6月10日(水)新緑の中の里山整備作業です



③6月27日(土)尼崎信用金庫三田支店の皆さんと里山整備作業です



④9月26日(土)「野鳥の小道」近辺の枯松伐採作業です



★里山体験学習支援

①7月7日(火)雨にも負けず県立有馬高校公開セミナー支援で里山整備体験活動を実施(生徒14名:先生・スタッフ8名)



★有馬富士森林公園の花(6月)

ヤマボウシ ササユリ 栗の花



★その他の活動

①9月2日(水) 9月度世話人会(7名)3密を避けて1人1テーブルです



②9月2日(水) 9月度世話人会の後、里守の会の活動エリアの見学



★コロナ感染防止の為、例年通りには実施出来なかったイベント ①4月の春のありまふじフェスティバル ②春の山菜を食する会 ③4月の第23回定例総会は郵送による総会議題の審議・議決に変更 結果:承認

令和2年度下期の活動予定

- ・ 10月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動
- ・ 10月24日 キノコ観察会:「ひょうご森の日」との併催
- ・ 10月3日・10日 北摂里山大学支援
- ・ 11月~12月に3回 松が丘小学校里山体験学習支援
- ・ 2月 椎茸菌打ち体験会